ナレッジ共有システムについて、OSSの「Knowledge」検討

１．Knowledgeとは

２．導入

１．Knowledgeとは

オープンソースソフトウェアとして開発されたナレッジ共有アプリケーション

メリット：完全無料、メーカー品は無料範囲が狭すぎるため実運用は有料版になる可能性大

デメリット：設定が手間、メーカー品と異なり保守対応はない

特徴

・ドラッグ＆ドロップで複数ファイルを簡単アップロード

・Googleのような形で検索可能

・アップロードされたファイルの中身も検索可能

・絞り込み検索可能

公式HP：<https://information-knowledge.support-project.org/ja/>

Github：<https://github.com/support-project/knowledge>

参考URL：<https://koda3.hatenablog.com/entry/2015/01/11/073219>

<https://www.casleyconsulting.co.jp/blog/engineer/2778/>

グラフィカル ユーザー インターフェイス

低い精度で自動的に生成された説明

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明

またknowledgeデモンストレーション用のページも存在

URL：<https://test-knowledge.support-project.org/open.knowledge/list>

ID：user1　PW：user1

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明

上図はデモ環境にて文字検索している様子

ファイルの中身の検索ができ、”データ初期化”の文字列であれば”データ”と”初期化”を自動で分別して検索している

２．導入

実際に動かしてみて使いやすさを実感してみたかったので、導入しようとしました。

今回導入まで至りませんでした。参考になるかと思うので経緯を記載します。

Knowledge構築(warファイル展開)のため、アプリ開発環境が必要

下記2つのどちらかの環境で実装できるようです。

・Docker

・Tomcat

それぞれの開発環境にも別の環境が必要

・Dockerの場合

CentOS7(のためのLinux環境も必要)が必要

・Tomcatの場合

Java(JDK)、CentOS7が必要

となります。

そこでCentOS上でコマンド入力にて環境を構築していくのですが、CentOSではEthernetじゃなければインターネットに接続できない（調査中）ようなので、今回環境構築には至りませんでした。

その他、躓いた点や気付いた点

・Dockerは年商$1000万以上の企業の利用は有料になるため、Tomcat一択？

・Tomcatは管理者ユーザとPWを強引に設定する必要あり

　　conf/tomcat-users.xml内に該当文記述

・CentOSは元メーカーのサービス終了となるため、別団体管理のサーバーから入手

・CentOSはisoファイルでインストールされるためマウントする。

　　VirtualBox上のLinux環境を新規構築すると自動でCentOSが起動した。